

## 情勢報告

## 今の品質で大丈夫！～ナスの品質向上推進協議会を開催～



やっぱりこの品種の味がいい！

3月21日、JA土佐あき本所において、JA土佐あき園芸部ナス部役員と関係機関が集まり、ナスの品質向上推進協議会を開催しました。

会議では、“次世代につなぐナス産地の再構築”産地ビジョンの推進の中間報告と「秀品出荷率の高い人がお金をとれる仕組みづくり」のための現状把握として、収量・品質・品種と売上げの相関（28園芸年度の出荷データを使用）について出席者と情報を共有しました。

また、県育成品種の推進の一環として、現在栽培されているナス品種（試作品種含：6品種）を試食（浅漬け）し、県育成品種の食味の良さを再認識しました。

農業改良普及課は、今までの活動で得られたデータを生産者に繋ぎながら産地ビジョンが達成できるよう支援します。

## 病害対策の見直しを！～穴内集出荷場ナス部会 勉強会を開催～



農薬散布の実演映像でとても勉強になりました

3月28日、JA土佐あき穴内集出荷場研究会ナス部会が勉強会を開催し、17人の生産者が参加しました。

農業改良普及課は、穴内地区で実施したナスフザリウム立枯病のアンケート結果をフィードバックし、地区の現状と対策としての湿度抑制や有効薬剤の適期散布の強化を呼びかけました。

また、農薬散布時の薬液付着向上技術について講習しました。農薬散布方法の講習は珍しく、実演映像を見た生産者は、「これだけ丁寧にやらんといかんがか！！」と驚いていました。

農業改良普及課は、今後も増収・品質向上のための効果的な病害防除技術について情報提供します。

## 「プレミアムてまいら酢」の本格的な販売開始に向け検討中(東風グループ)



新商品販売パネルで販促活動に頑張ります！

4月5日、東川公民館で東風グループ4人を対象に6次産業化支援チーム会を開催し、今後の販売促進活動について検討しました。

農業改良普及課は、新商品の原材料の配合割合の変更に伴い販売原価を試算し、協議の結果、販売金額を決定しました。

また、商品PR方法として新聞等を活用して新商品の発売を告知し、その後に新規販売先に売り込みを開始することになりました。

今回の会では、新商品のPRパネルが披露されたことで、メンバーの商品への愛着や販売への意欲向上につながりました。

農業改良普及課は、今後もグループが積極的に新商品のPRや販売ができるように支援します。

## ハウスのユズはもう開花 ～柚子部東川支部 ハウスユズ巡回～



開花し始めたハウスのユズの花

4月11日、J A土佐あき柚子部東川支部のハウスユズ農家4戸を対象に、J Aと合同で巡回指導を実施しました。

4戸とも無加温での栽培ですが、早いハウスではすでに開花が始まっており、農業改良普及課から、4月は日射量が強く、気温も高くなる時期であるため、適正なかん水管理や温度管理に注意するよう指導しました。

また、巡回中に生産者同士で「どれくらいの頻度でかん水している?」「うちは平年並みの花の量やけど、みんなのハウスは?」といった栽培管理や生育状況についての情報交換もできました。

農業改良普及課は、今後もJ Aと連携して部会活動を支援します。

## 雨ニモマケズ 雹ニモマケズ<sup>ひょう</sup> ～花き部中山支部 シャクヤク現地巡回～



雹にやられたけど  
頑張って出荷せんといかんね～

4月11日、J A土佐あき花き部中山支部のシャクヤクの現地検討会を実施しました。安田町中山地区のシャクヤクは、ユズ栽培と作業が重複しないことから、ユズの補完品目として有望で、近年、生産者が増加しています。

現地検討会には、雨の中、生産者12人が参加し、生育状況や4月早々に降った雹被害の経過を確認しました。農業改良普及課からは、摘蕾方法や曇雨天で多発する灰色かび病の防除の重要性と薬剤選定について指導しました。生産者から「病気はやっぱり予防が大事やね～」「これから摘蕾と収穫で忙しくなるね～」といった声が聞かれ、活発な情報交換ができました。

農業改良普及課は、今後もJ Aと連携して栽培暦を検討し、シャクヤクの栽培推進による中山間地域の振興に取り組みます。

## 今後の害虫管理のポイントは? ～土佐あき園芸研究会ピーマン部会～



害虫対策の説明を熱心に聴く生産者

4月12日、J A土佐あき園芸研究会ピーマン部会が現地検討会・勉強会を開催し、生産者10人が参加しました。

3つのほ場で現地検討会を実施し、生産者は生育状態やハウス内環境を見ながら、かん水や温湿度管理について活発に意見交換を行いました。

農業改良普及課は、勉強会でチャノキイロアザミウマとコミドリチビトビカスミカメの被害と対策の情報を提供しました。

生産者からは天敵への農薬の影響について「天敵が徐々に減っていると思う」「長期的な影響はどうか」などの意見や質問がありました。

農業改良普及課は、今後も栽培管理や病虫害対策などの情報提供を通して部会活動を支援します。

### 3、4月は病害急増、多発期！！定期的な薬剤散布を！



夫婦と一緒に対策を考えましょう！

農業改良普及課室戸支所は3～4月、促成ナス生産農家18戸に対し、ナスの難防除病害であるナスフザリウム立枯病対策の巡回指導を行いました。

今作は天候の影響で年内から病害が発生しており、4月には多発することが予想されたため、適切な薬剤、散布方法、病害が発生した場合の対処法について情報提供しました。フザリウム立枯病が発生している生産者から「一度発生するとなかなか止まらないが、罹病株を早く処分して薬剤散布すれば、これ以上被害は広がらない。」といった声が聞かれ、防除意識を高めることができました。

農業改良普及課室戸支所は、今後も増収・品質向上のための効果的な病害防除技術を情報提供します。